



(題字 時澤 貢 学長)

第434号
(平成13年 2 月号)

2月のトピックス

◇ 25日 平成13年度入学者選抜個別学力検査（前期日程）を実施



△ (左) 入場受付を待つ受験生 (右) 検査終了後、帰路につく受験生 (理学部前)

目 次

関係法令	3	学内諸報	
学内規則		◆ 学部長の改選	9
◆ 富山大学施設利用規則の制定	3	◆ 附属図書館がI-BOOKサービスを開始	10
諸会議	4	◆ セクハラ相談員研修会を開催	11
学 事		◆ 教育学部の今後の在り方についての講演会 を開催	11
◆ 平成13年在外研究員派遣者の決定	5	◆ 教育学部が初の外部評価委員会を開催	12
◆ 平成13年度国際研究集会派遣研究員（第1 期）の決定	6	◆ 事務職員啓発セミナーを開催	12
◆ 平成13年度内地研究員派遣者の決定	6	◆ 経済学部が初の外部評価委員会を開催	13
◆ 平成13年度入学者選抜個別学力検査（前期 日程）の実施	6	◆ 退官記念最終講義の実施	13
人事異動	9	◆ 表彰	14
		◆ 海外渡航	14
		職員消息	
		◆ 新任者住所	15
		◆ 訃報	15
		主要行事	15

関 係 法 令

- (政 令)
- 電子署名及び認証業務に関する法律施行令(41)
(平成13.2.28 官報第3064号)
- (規 則)
- 人事院規則9-49(調整手当)の一部を改正する人事院規則(人事院9-49-17)(平成13.2.28 官報第3064号)
- (省 令)
- 行政機関の保有する情報の公開に関する法律に基づく手数料の納付手続の特例に関する省令(財務10)
(平成13.2.28 官報号外第36号)

学 内 規 則

富山大学施設利用規則の制定

富山大学施設利用規則の制定理由

富山大学における校舎・研究施設等の有効活用の方策として、既存の組織の枠組みを越えた施設利用を推進し、施設の有効利用を図るため、所要事項を定める。

富山大学施設利用規則を次のとおり制定する。

平成13年2月16日

富山大学長 時 澤 貢

富山大学施設利用規則

(趣 旨)

第1条 この規則は、富山大学における校舎・研究施設等(以下「施設」という。)を有効に利用するため、施設利用に関する基本的な事項及び効率的運用に必要な事項を定めるものとする。

(適 用)

第2条 この規則の適用範囲は、富山大学の施設とする。
2 それぞれの施設における適用時期については、施設の新築・増築されるとき及び新築・増築による移行後に既存施設の跡地スペースが生じるときとする。

(利用範囲)

第3条 施設の利用は教育研究を目的とする。ただし、各部署長等の各施設の管理権限を有する者(以下「施設管理者」という。)が適当と認めた場合はこの限りでない。

(利用計画等)

- 第4条 各施設においては、既存の学部及び組織の枠組みを越えた教育研究活動を行うための共用スペース(以下「共用スペース」という。)として、全体整備面積の20%以上の共用スペースを確保する。ただし、全体整備面積が小規模な場合、又は特殊な用途を目的とする場合はこの限りでない。また、跡地スペースを共用スペースとする場合の面積規模は施設管理者と協議のうえ決定する。
- 2 各施設及び前項で定める共用スペースの利用計画は、施設管理者で策定し、施設整備委員会(以下「委員会」という。)の議を経て学長が決定する。
 - 3 各施設及び共用スペースの利用者の決定は、利用計画を踏まえ、施設管理者が行うものとする。
 - 4 各施設を学内行事、会議等で一時的に利用する場合は、施設管理者の承認を得るものとする。

(利用期間)

第5条 共用スペースの利用期間は、原則として5年とする。ただし、学長が必要と認めた場合は更新することができる。

2 共用スペースの利用者は、3年を経過した段階で、利用に関する中間報告を、また、更新を希望する段階で自己点検・評価を行い学長に報告する。

(施設の管理・運営)

第6条 利用計画を策定した施設管理者は、各施設の利用範囲の管理責任者としてその適正な管理を図るとともに、円滑な運営がなされるように努めなければならない。

(利用に係る経費)

第7条 共用スペースの利用者は、当該利用に係る施設の建物維持管理費及び光熱水料等（以下「使用料等」という。）を負担するものとする。

2 使用料等の額、徴収方法等に関しては、別に定める。

(利用の取り消し等)

第8条 学長は、利用者がこの規則及び利用計画に違反したとき、又は各施設の運営に支障を生じさせるおそ

れがあるときは、その利用を取消し、又はその利用を停止させることができる。

(原状回復)

第9条 利用者は、利用が終了したとき、又は前条の規定により利用を取消されたときは、施設の管理者の指示に従って速やかに原状に回復しなければならない。

(終了届)

第10条 共用スペースの利用者は、施設の利用を終了しようとするときは、所定の「施設利用終了届」を提出しなければならない。

(事務)

第11条 各施設の利用に関する事務は、当該施設の事務部が行う。

(雑則)

第12条 この規則に定めるもののほか、施設の利用に係る運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て、学長が別に定める。

附 則

この規則は、平成13年2月16日から施行する。



第4回広報委員会（2月2日）

(審議事項)

- (1) 広報委員会に付託された「改善を必要とする重点事項」の回答について
- (2) 地域向け広報誌について
- (3) 学内向け広報誌について
- (4) 広報誌編集委員会要項について
- (5) 情報公開取扱要項（案）、情報公開の流れ図（案）及び開示・不開示の審査基準（案）について
- (6) 教員の保有する文書の保存分類基準（案）について

第6回総務委員会（2月8日）

(審議事項)

- (1) 発明規則の一部改正について
- (2) 発明の届出について
- (3) 自己点検評価報告書による付託事項について
- (4) 入構許可証の発行について（継続）
- (5) 交通指導員の定数について

(6) 平成13年度五福地区構内交通規制業務について

第10回事務協議会（2月13日）

(協議事項)

- (1) 事務組織改編後における改善案について

第10回大学教育委員会（2月13日）

(審議事項)

- (1) 教養教育副実施機構長の推薦に係る手続きについて

第9回国立大学の設置形態に関する検討特別委員会

（2月14日）

(審議事項)

- (1) 今後の検討課題について

第4回情報委員会（2月15日）

(審議事項)

- (1) マルチメディア・コミュニケーションセンター構

想について

第10回国立大学の設置形態に関する検討特別委員会

(2月23日)

第12回部局長会議 (2月16日)

(審議事項)

- (1) 平成13年度大学祭に伴う休業日について

(審議事項)

- (1) 国立大学法人の枠組についての試案について

第7回総務委員会 (2月23日付け持ち回り)

(審議事項)

- (1) 発明の届出について

第15回評議会 (2月16日)

(審議事項)

- (1) 中期目標・中期計画について (継続)
- (2) 学長候補者選考日程について
- (3) 大学評価・学位授与機構による大学評価への対応について
- (4) 施設利用規則の制定について

第5回広報委員会 (2月26日)

(審議事項)

- (1) 情報公開法に関する具体的対応について
- (2) 地域広報誌の名前について
- (3) 広報誌編集委員会要項について

第10回富山大学の在り方に関する検討特別委員会

(2月23日)

(審議事項)

- (1) 学部の教育研究の問題点について (工学部)



平成13年度 在外研究員派遣者の決定

種 類	所 属	職 名	氏 名	主たる滞在地及び当該滞在地の属する国名並びに派遣先の機関名	調 査 研 究 題 目	派遣期間
長期(甲種)	工学部	助教授	堀田 裕弘	コンチェスタ (イギリス) エセックス大学	映像品質の評価技術とその動画画像処理に関する研究	13. 12. 1 } 14. 9. 30
	経済学部	教 授	萩野 聡	ミュンヘン (ドイツ) ミュンヘン大学	ドイツ行政行為論の研究	13. 4. 3 } 14. 2. 2
若 手	理学部	助 手	唐原 一郎	ボウルダー (アメリカ合衆国) コロラド大学	植物細胞における輸送小胞の電子顕微鏡を用いた解析	13. 8. 1 } 14. 1. 31
	人文学部	助教授	梁 有紀	上 海 (中国) 復旦大学	上海都市文学に関する研究	13. 9. 1 } 14. 8. 31
短 期	工学部	教 授	上羽 弘	ベルリン (ドイツ) マックスプランクフリッツハーバ研究所	固体表面吸着子の電子・振動ダイナミクスに関する研究	13. 6. 15 } 13. 8. 14

平成13年度国際研究集会派遣研究員（第Ⅰ期）の決定

所属	職名	氏名	派遣集会名	開催国	研究題目	開催期間
理学部	助手	渡邊 了	変形メカニズム、レオロジーとテクトニクス	オランダ	電気インピーダンス測定に基づく岩塩中の連結度	13. 4. 2 } 13. 4. 6

平成13年度内地研究員派遣者の決定

所属	職名	氏名	受入機関	研究題目	派遣期間
人文学部	教授	筒井 洋一	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	参加民主主義における情報ネットワークの意義について	13. 5. 1 } 14. 2. 28
経済学部	教授	水谷内徹也	愛知学院大学大学院 経営学研究科	理念・倫理主導の経営行動と経営者の課題 ～企業利害関係者戦略と企業理論の探求～	13. 5. 1 } 13. 10. 31

平成13年度入学者選抜個別学力検査（前期日程）を実施

－昨年より84人多い2,666人が受験－

平成13年度入学者選抜個別学力検査（前期日程、専門高校・総合学科卒業生選抜）が、2月25日（日）各学部検査場において実施されました。

当日は、日中小雪がちらついていたものの、交通機関に影響はなく、本学では検査開始2時間前からすでに受験生の姿が見え始め、受付開始の午前9時には各検査場前は受験生でいっぱいとなりました。

検査は、日程に従い静粛に実施され、前期日程及び専門高校・総合学科卒業生選抜（個別学力検査を課さない経済学部夜間主コースを除く。）の志願者2,820人のうち2,666人が受験（受験率94.5%）しました。また、私費外国人留学生特別選抜も併せて実施され、81人が受験しました。

なお、前期日程、後期日程及び私費外国人留学生特別選抜の志願者は次表のとおりです。



▲ 試験開始を待つ受験生（理学部検査場）

平成13年度富山大学入学志願状況表【確定】

学部	学科・課程等	平成13年度				平成12年度				備考			
		前期日程		後期日程		前期日程		後期日程					
		募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)	募集人員 (人)	志願者数 (人)		倍率 (倍)		
人文学部	人文学科	36	181	5.0	13	95	7.3	49	276	5.6	57	370	6.5
	国際文化学科	30	141	4.7	11	88	8.0	41	229	5.6	44	214	4.9
	言語文化学科	45	193	4.3	17	112	6.6	62	305	4.9	71	413	5.8
	計	111	515	4.6	41	295	7.2	152	810	5.3	172	997	5.8
教育学部	学校教育系	16	43	2.7	7	87	12.4	23	130	5.7	23	101	4.4
	障害児教育系	5	23	4.6	2	23	11.5	7	46	6.6	7	24	3.4
	言語・社会系	18	87	4.8	7	72	10.3	25	159	6.4	25	114	4.6
	養成課程	19	35	1.8	6	39	6.5	25	74	3.0	25	96	3.8
	芸術・体育系	8	35	4.4	4	60	15.0	12	95	7.9	12	91	7.6
	発達臨床専攻	5	12	2.4	3	23	7.7	8	35	4.4	8	31	3.9
	生涯スポーツ専攻	4	17	4.3	3	41	13.7	7	58	8.3	7	54	7.7
	人間環境専攻	14	47	3.4	6	37	6.2	20	84	4.2	20	79	4.0
	情報教育	8	21	2.6	4	44	11.0	12	65	5.4	14	33	2.4
	育課程	4	18	4.5	2	21	10.5	6	39	6.5	6	25	4.2
計	101	338	3.3	44	447	10.2	145	785	5.4	147	648	4.4	
経済学部	経済学	80	207	2.6	31	186	6.0	111	393	3.5	131	483	3.7
	経営学	71	193	2.7	24	170	7.1	95	363	3.8	100	458	4.6
	経営学	59	252	4.3	20	225	11.3	79	477	6.0	84	409	4.9
	小計	210	652	3.1	75	581	7.7	285	1,233	4.3	315	1,350	4.3
	経済学	3	38	12.7	7	101	14.4	10	139	13.9	10	70	7.0
	経営学	3	18	6.0	7	91	13.0	10	109	10.9	10	112	11.2
	経営学	3	37	12.3	7	69	9.9	10	106	10.6	10	80	8.0
小計	9	93	10.3	21	261	12.4	30	354	11.8	30	262	8.7	
計	219	745	3.4	96	842	8.8	315	1,587	5.0	345	1,612	4.7	
理学部	数学	28	90	3.2	6	43	7.2	34	133	3.9	34	159	4.7
	物理学	26	67	2.6	6	32	5.3	32	99	3.1	32	79	2.5
	化学	22	65	3.0	7	47	6.7	29	112	3.9	29	90	3.1
	生物学	23	79	3.4	5	46	9.2	28	125	4.5	28	120	4.3
	地球環境科学	29	98	3.4	9	52	5.8	38	150	3.9	38	147	3.9
	生物圏環境科学	19	103	5.4	5	105	21.0	24	208	8.7	24	85	3.5
	小計	147	502	3.4	38	325	8.6	185	827	4.5	185	680	3.7
	電気電子システム工学	52	123	2.4	18	83	4.6	70	206	2.9	70	298	4.3
	知能情報工学	45	136	3.0	16	112	7.0	61	248	4.1	61	176	2.9
	機械知能システム工学	52	205	3.9	17	177	10.4	69	382	5.5	69	216	3.1
物質生命システム工学	93	320	3.4	28	195	7.0	121	515	4.3	121	585	4.8	
小計	242	784	3.2	79	567	7.2	321	1,351	4.2	321	1,275	4.0	
工学部	専門高	2	6	3.0				2	6	3.0	2	5	2.5
	校・総	2	15	7.5				2	15	7.5	2	15	7.5
	機械知能システム工学	2	5	2.5				2	5	2.5	2	6	3.0
	物質生命システム工学	2	3	1.5				2	3	1.5	2	4	2.0
	卒業生	8	29	3.6				8	29	3.6	8	30	3.8
小計	250	813	3.3	79	567	7.2	329	1,380	4.2	329	1,305	4.0	
計	828	2,913	3.5	298	2,476	8.3	1,126	5,389	4.8	1,178	5,242	4.4	

平成13年度富山大学入学者選抜試験私費外国人留学生選抜出願状況表

学 部	学科・課程		平成13年度		平成12年度	
			募集人員	志願者数	募集人員	志願者数
人文学部	人 文 学 科		若干名	8	若干名	1
	国 際 文 化 学 科		若干名	7	若干名	7
	言 語 文 化 学 科		若干名	5	若干名	4
	計		若干名	20	若干名	12
教育学部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程		若干名	2	若干名	2
	生 涯 教 育 課 程		若干名	1	若干名	0
	情 報 教 育 課 程		若干名	2	若干名	1
	計		若干名	5	若干名	3
経済学部	昼間主 コース	経 済 学 科	若干名	15	若干名	4
		経 営 学 科	若干名	29	若干名	19
		経 営 法 学 科	若干名	5	若干名	0
	計		若干名	49	若干名	23
理学部	数 学 学 科		若干名	0	若干名	1
	物 理 学 科		若干名	0	若干名	0
	化 学 学 科		若干名	1	若干名	0
	生 物 学 科		若干名	0	若干名	0
	地 球 科 学 科		若干名	1	若干名	0
	生 物 圏 環 境 科 学 科		若干名	0	若干名	0
	計		若干名	2	若干名	1
工学部	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科		若干名	6	若干名	4
	知 能 情 報 工 学 科		若干名	13	若干名	9
	機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 科		若干名	5	若干名	2
	物 質 生 命 シ ス テ ム 工 学 科		若干名	1	若干名	0
	計		若干名	25	若干名	15
合 計			若干名	101	若干名	54

【参考；国籍別志願者数】

年 度	中 国	韓 国	マレーシア	ネパール	スリランカ	イ ラ ン	合 計
1 3	8 9	5	5	1	1		1 0 1
1 2	4 7	3	2		1	1	5 4

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
採 用	13. 1. 9	堰免 芳子		臨時用務員（教育学部炊婦）
	"	仲谷千鶴子		"（"）
	"	青木 佳龍		"（"）
	13. 1. 10	藤井 香		"（"）
	13. 1. 24	新屋敷敬子		技能補佐員（研究支援推進員） （水素同位体科学研究センター）
昇 任	13. 2. 1	梁 有紀	講 師 人文学部（言語文化学科日本東洋言語文化）	助教授 人文学部（言語文化学科日本東洋言語文化）
	"	堀江 典生	講師 経済学部（経済学科比較経済論）	助教授 経済学部（経済学科比較経済論）
転 任	13. 2. 1	川成 淳也	経理部契約室契約第三係	国立立山少年自然の家庶務課会計係
臨時的任用	13. 1. 15	山田 智子		教 諭（教育学部附属養護学校） （～13. 2. 25）

学 内 諸 報

学 部 長 の 改 選

教育学部長に塚野教授を再選



塚野州一教育学部長の任期が、平成13年3月30日で満了することに伴い、教育学部教授会は、2月14日（水）に次期学部長候補者の選挙を行いました。

その結果、塚野州一教授が再選されました。任期は、平

成13年4月1日から2年間。

塚野教授は、昭和40年3月東京学芸大学学芸学部を卒業、同43年3月東北大学大学院教育学研究科修士課程を修了、同45年11月東北大学大学院教育学研究科博士課程を退学後、同年同月東北大学教育学部助手に採用となり、同49年4月富山大学教育学部講師、同51年5月同助教授、平成元年同教授となり、平成7年5月から評議員、平成

11年3月から教育学部長を併任され、現在に至っていません。

専門は、発達心理学。心理学博士（筑波大学）。新潟県出身。

（就任の抱負）

教育学部長としてこれから2年間統投することになりました。

平成12年度は附属教育実践研究指導センターから教育実践総合センターへの改組ができ、平成13年度から大学院社会科教育、英語教育の設置などが全教職員のご尽力、ご協力で実現しました。12年度後半には、トイレ改修、エレベーター設置などハード面でも改善されました。

しかし、教育学部は、大学改革の大波をこうむる中心部にあり、全国の情勢を早く正確に捉え、行動することがますます重要になっています。幸い先年の2度の改組

でも学部はよくまとまって速やかに対応してきた実績があります。こうした経験を生かし、学部の先生方の力量に支えていただきながら、学部の教育・研究や社会貢献の実績を着実に積み重ねたいと考えています。附属学校

との教育・研究面の連携でも真剣な協議が続いており、成果もまもなくでるものと確信しています。

教育学部はもとより全学の皆様のご支援をお願いいたします。

理学部長に岡部教授を選出



廣岡公夫理学部長の任期が、平成13年3月31日で満了することに伴い、理学部教授会は、2月14日（水）に次期学部長候補者の選挙を行いました。

その結果、岡部俊夫教授が選出されました。任期は、平成13年4月1日から2年間。

岡部教授は、昭和40年3月京都大学理学部物理学科を卒業後、同年4月から1年間京都府立医科大学助手を勤められた後、同41年4月京都大学大学院理学研究科修士課程に入学され同研究科修士課程、博士課程を経て、同46年5月富山大学文理学部助手に採用され、同49年4月同助教授、同52年5月理学部助教授、平成5年4月同教授となり、平成7年5月から評議員を併任され、現在に至っています。

専門は、物性物理学。理学博士（京都大学）。

岡山県出身。

（就任の抱負）

理学部は昨年度、過去5年間の業績をまとめ教育・研究について自己点検を行いました。引き続き、学科及び学部全体の事項について外部評価を受けました。「理学

部の教職員の向上を目指す熱意に感服した。この情熱を持ち続けることによって研究・教育が一層発展することを期待する。」とのかなり高い評価を受けることができましたが、それと同時に多くの改善点の指摘も受けました。「国際的に高く評価される研究業績をあげている教官が多いにも拘わらずPRが十分でない。積極的に成果を公表・宣伝すべきだ。」「富山県唯一の理学部として、地域との連携について一層の工夫をしながら推進していくことを期待する。」等々です。

理工学研究科博士後期課程が実現し、すでに6名の理学博士を送り出すことができました。理学部校舎の老朽化、狭隘化解消のための総合研究棟の増築が決まり、続いて既設校舎のリニューアルも富山大学の重点目標として実現に向けて動き出しました。このように全学の力強い後押しで、理学部の教育・研究のインフラ整備が急速に進みつつある状況です。

今、少子高齢化社会での大学教育のあり方が問われ、行財政改革の一環として大学改革が政治の俎上に乗っています。このような状況においてこそ、真剣に理学部のあるべき姿を模索し「知の創造・継承」こそが大学の使命であることを忘れず、教育・研究の不断の改善に取り組んでいきたいと思えます。理学部教職員の熱意と、富山大学教職員のお力添えをお願いいたします。

附属図書館が I - B O O K サービスを開始

附属図書館は、開館時間を午後10時まで延長し、利用者の範囲を一般市民にまで広げるなどのサービスの拡充を行ってきましたが、更にサービスの充実を図るため、2月1日（木）新図書館業務システムを稼働させました。

新しい業務システムは、多言語に対応したシステム構成になっており、国立情報学研究所の多言語目録データベースに対応しています。インターネットによる総合目録情報検索システム（OPAC）の充実、新刊案内の整

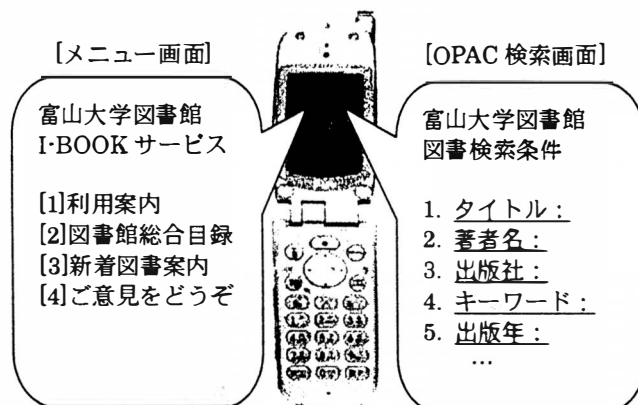
備、貸し出し中の図書の予約と貸し出し可能となった際の連絡に電子メールで通知する機能などが整備され、書店の選書データベースを利用した選書・発注・受入・目録の自動サイクルシステムが平成13年度中には整備される予定です。

また、情報サービスの拡充を図るため I - B O O K サービスとして新刊情報と図書館利用案内等を N T T ・ドコモの i モードを対象に試行サービスを実施していました

が、新システム稼動に合わせてiモード、J-SKYWEB、EZwebの各携帯電話モード対応のOPACを開始しました。

この検索サービスは、ネットワークに接続された情報端末によって実現されていたOPACを携帯電話でも可能にすることによって、どこでも簡単な操作で図書館の利用の仕方、新刊案内、必要とする資料の有無、貸し出し可能か、どこに探す資料があるかなどの情報も得られることになり、利用者にとっては非常に便利になることが予想されます。

URLは、iモード (<http://www.lib.toyama-u.ac.jp/i/>)、J-SKYWEB (<http://www.lib.toyama-u.ac.jp/j/>)、EZweb (<http://www.lib.toyama-u.ac.jp/ez/>)



▲ 携帯から図書検索

セクハラ相談員研修会を開催

2月2日(金)に(財)21世紀職業財団富山事務所の雇用管理アドバイザー佐藤良治氏を講師に招いて、セクシュアル・ハラスメント等相談員20名を対象とした研修会が事務局中会議室で開催されました。

この研修会は、セクシュアル・ハラスメント等に関する相談に適切に対処するとともに、相談に際しての配慮すべき心得等について研鑽を図るため開催されたものです。

佐藤講師は、「相談・苦情窓口と相談員に求められる

もの」と題して、相談・苦情窓口の必要性や設置と運用上の問題について具体例をもとに2時間余り説明し、相談担当者に求められる対応の基本と心得の重要性を強調されました。

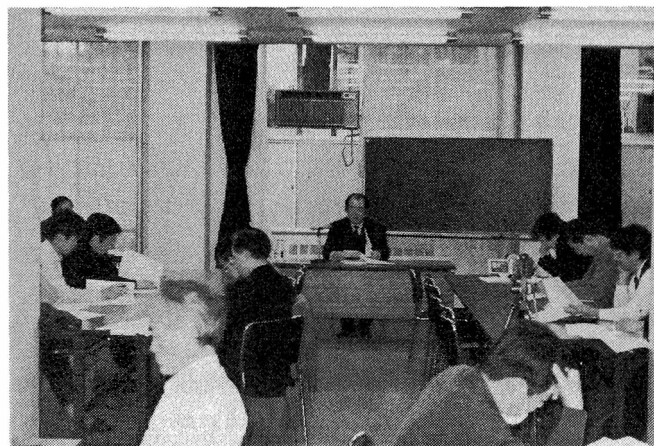
講義後、現在本学で実施中のアンケートの取扱い等についても熱心な質疑応答があり、今後のセクシュアル・ハラスメント対応について非常に参考となるアドバイスを受けました。

教育学部の今後の在り方についての講演会を開催

教育学部は、2月7日(水)、国立教育研究所高等教育研究部統括研究官であり、「国立の教員養成系大学・学部での在り方に関する懇談会」(在り方懇)の有識者メンバーの一人である木岡一明氏を講師に招いて、「教員養成系学部の今後の在り方について」の講演会を開催しました。

講演で、木岡氏は、在り方懇の議論を踏まえながら、「教員を養成することの原点に立ち戻り、そこから大学と教員養成・教育学との関連を問い直していくこと」の必要性を強調されました。

講演後は、参加者から自らの教育実践に関わった質問や「拠点校化」に関わる質問などが出され、熱のこもった質疑応答が行われました。



▲ 講演する木岡氏

教育学部が初の外部評価委員会を開催

教育学部は、2月8日（木）、9日（金）の2日間の日程で県内外の学識経験者9人を委員に委嘱し、初の外部評価委員会を開催しました。

初日は、塚野州一教育学部長の挨拶に続き、出席者の紹介、委員長を選出（光華女子大学 高木英明 学長）が行われました。その後、同学部長から、自己点検評価報告書「教育学部の教育の現状と課題2001」について総括説明が行われ、質疑応答に入りました。

2日目は、前日の説明を踏まえて、学部の理念と基本目的及び教育システム等について講評が行われた後、委員から、①より良い人材の受け入れ、②コミュニケーション能力や挑戦する意欲のある教員養成、③大学院教育の更なる充実等について、数々の提言がありました。

同学部では、この評価結果等を報告書にまとめ公表するとともに、今後の教育研究活動と学部運営に活かすこととしています。

なお、高木委員長以外の同学部外部評価委員会委員は、清水一彦（筑波大学教授）、中津井泉（(株)リクルート

カレッジマネジメント編集長）、吉田貞介（金沢学院大学教授）、金井 進（富山県教育委員会教育次長）、辻野 昭（前兵庫教育大学長）、山口松蔵（富山県近代美術館館長）、金子勲栄（金沢大学教育学部附属教育実践総合センター長）、山下謙治（富山市立新庄小学校長）の各氏です。



▲ 教育学部外部評価委員会の模様

事務職員啓発セミナー（第4回）を開催

2月26日（月）、小幡忠夫富山国際大学事務部長（元滋賀医科大学事務局長）を講師に招いて、事務職員啓発セミナー（第4回）が黒田講堂で開催されました。

約60人が参加した今回のセミナーでは、小幡部長が「大学の経営について－私学の視点から－」と題して、1時間半の講義を行いました。

講義では、少子化に伴う入学志願者数の減少に代表される大学を取り巻く社会環境の変化、“学校法人”の性格及び私立大学の現状と経営について、具体的な統計資料に基づき説明があり、特に厳しい大学経営の現状から、如何に学生を確保して、効率的、効果的に研究業績、教育業績をあげることができるかが重要である旨強調されました。

国立と私立の大学の豊富な勤務経験を持つ同部長の大学経営に対する危機感は、受講者に強く響き、講義後も

対応策について熱心な質疑応答が行われ、独立行政法人化を視野に入れた今後の大学運営について、非常に参考となるアドバイスを受けました。



▲ 講義する小幡氏

経済学部が初の外部評価委員会を開催

経済学部初の外部評価委員会が、2月28日（水）経済学部会議室で開催されました。

当日は、学外の有識者として委員に委嘱した、新木富士雄（北陸電力株式会社社長）、中尾哲雄（富山県経済同友会代表幹事、株式会社インテック取締役社長）、中田善廣（富山県高等学校長協会長、高岡高等学校長）、細川俊彦（金沢大学法学部教授）、宮本匡章（金沢学院大学長）、蟬山昌一（高岡短期大学長）の6氏が出席しました。

委員会では、古田学部長をはじめ9名の教官が学部の概要説明を行った後、委員長に蟬山氏を選出し、意見交換ならびに質疑応答を行いました。

各委員からは、「実際に起きているテーマに取り組むなど、実務と理論を近づけた教育が必要」、「社会人教育など幅広い対象を考えるべき」など、富山だけがもつ特色と独自性を打ち出し、より地域社会に開かれた学部づ

くりを求める提言が出されました。

同学部では、今後、委員会での意見、提言等を報告書として取りまとめ、検討を加えるとともに、これを将来計画の中に組み込んでいくことにしています。



▲ 外部評価委員会の模様

退官記念最終講義の実施

本年3月末をもって退官される教授の最終講義が、経済及び理学部で行われ、多数の学生、教職員、OBが出席し、終始熱心に聴講しました。



▲ 経済学部 駒城 鎮一 教授

日 時 2月7日（水）13時15分から

場 所 経済学部301番講義室

題 目 法と哲学、文学、そして経済学との交渉
- 普遍法学の夢 -



▲ 理学部 高木 光司郎 教授

日 時 2月20日（火）14時から

場 所 理学部10番教室

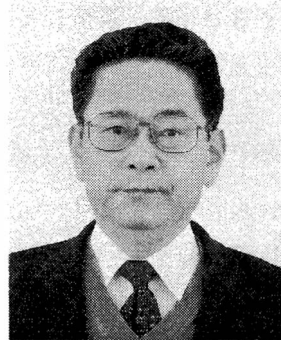
題 目 光と分子と私の相互作用



竹越栄俊教授がエネルギー管理功績者表彰の経済産業大臣賞（熱部門）を受賞

2月7日（水）、竹越栄俊工学部教授が、永年にわたりエネルギー管理の推進に尽力し、その功績が極めて顕著であるとして、経済産業省主催エネルギー管理功績者表彰の経済産業大臣賞（熱部門）を受賞されました。

竹越教授は機械知能システム工学科エネルギー・環境工学講座所属で、専門は熱工学。



海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	人文学部	教授	前 川 要	イ ギ リ ス	電磁気探査法による考古学遺跡の非破壊探査手法に関する研究開発動向の調査	13. 2. 3 } 13. 3. 17
	理学部	教授	東 川 和 夫	ア メ リ カ 合 衆 国	有界領域の幾何学的解析構造に関する研究	13. 2. 9 } 13. 2. 19
	工学部	助教授	山 口 昌 樹	ア メ リ カ 合 衆 国	GRC国際会議に出席，ディスカッション	13. 2. 11 } 13. 2. 20
海外研修	教育学部	助教授	橋 爪 和 夫	ア メ リ カ 合 衆 国	マラソンにおける運動強度と歩数に関する研究	13. 2. 2 } 13. 2. 11
	教育学部	教授	山 地 啓 司	ア メ リ カ 合 衆 国	マラソンレースにおける運動強度と歩数に関する研究	13. 2. 2 } 13. 2. 7
	経済学部	教授	小 倉 利 丸	チ ェ コ	東欧のインターネットを活用したNGOの活動に関する調査，研究会に出席，報告	13. 2. 15 } 13. 2. 24
	人文学部	外国人教師	キャレン・フェダーフォルト	オーストリア イ ギ リ ス アラブ首長国連邦 ド イ ツ	「2001年TESOLアラビア会議」において研究発表	13. 2. 24 } 13. 3. 30
	人文学部	講師	内 山 純 蔵	韓 国	韓国先史時代についての動物考古学的研究に関する打合せ	13. 2. 28 } 13. 3. 3

職 員 消 息

《新任者住所》

部 局	職	氏 名
工 学 部	文部科学技官	田 村 宏 樹

訃 報

◎ 新井 甲一 名誉教授がご逝去されました。

新井甲一名誉教授（元工学部）には、平成13年2月19日午前9時2分ご逝去（66歳）されましたことお知らせします。ここに、ご生前のご功績とお人柄を偲び、心から哀悼の意を表します。

主 要 行 事

本 部

- 2月1日 人事院給与簿監査
第8回国際交流委員会留学生部会
- 2日 介護等体験実施富山県連絡協議会（富山県民
会館）
学生部長・学生指導担当副学長会議（東海大
学）
東海・北陸地区国立学校等施設担当部課長連
絡会議（文部科学省名古屋工事事務所）
第4回広報委員会
低温液化室先端技術講演会
演題；超伝導材料の現状と課題
講師；渡辺 和雄
（東北大学金属材料研究所助教授）
- 5日 事務局連絡会
経理系列専門委員会
辞令交付
- 6日 第28回運営会議
退職者説明会
情報関連事務集中化検討会
第3回大学教育委員会学務事務電算化専門委

員会

- 入学願書受付締切
- 7日 学内会計監査事前説明会
第2回体育施設運営協議会
- 8日 第8回教養教育企画専門委員会
第6回総務委員会
学長候補者選挙管理委員会
- 13日 事務局連絡会
第29回運営会議
第10回事務協議会
第16回教養教育検討特別委員会
第10回大学教育委員会
学内会計監査（～16）
- 14日 第9回国立大学の設置形態に関する検討特別
委員会
- 15日 第4回情報委員会
第5回水質保全センター運営委員会（持ち回
り）
R連盟ボーリング大会（富山地铁ゴールデン
ボール）
情報関連事務集中化検討会
- 16日 特別選抜合格者入学手続

- | | | |
|--|------|----------------------------|
| 第12回部局長会議 | 7日 | 学部予算委員会 |
| 第15回評議会 | | 学部講演会 |
| 19日 事務局連絡会 | | 演題；教員養成学部の今後の在り方 |
| 20日 第30回運営会議 | | 講師；木岡 一明 |
| 第2回環日本海地域研究センター運営委員会 | | (国立教育研究所教職研究室長) |
| 22日 情報関連事務集中化検討会 | 8～9日 | 教育学部外部評価委員会 |
| 23日 第10回国立大学の設置形態に関する検討特別委員会 | 9日 | 学部教務委員会 |
| 第10回富山大学の在り方に関する検討特別委員会 | | 学部学生生活委員会 |
| 第7回総務委員会（持ち回り） | 13日 | 学部自己点検評価委員会 |
| 第2回低温液化室運営委員会 | 14日 | 教育学研究科入学者選抜試験（第2次募集） |
| 25日 平成13年度入学者選抜個別学力検査（前期日程）・私費外国人留学生特別選抜試験 | | 教育学部長候補者選挙 |
| 情報関連事務集中化検討会 | | 教授会 |
| 26日 事務局連絡会 | 16日 | 大学教育委員会教職科目専門委員会 |
| 事務職員啓発セミナー（第4回） | | 附属養護学校教育実践研究会 |
| 第5回広報委員会 | 19日 | 研究科委員会小委員会 |
| 27日 第31回運営会議 | 20日 | 教育学部及び附属学校園共同研究プロジェクト運営委員会 |
| 第1回自然観察実習センター運営委員会 | 21日 | 研究科委員会小委員会 |
| 28日 第17回教養教育検討特別委員会 | | 研究科委員会 |
| | | 学部予算委員会 |
| | 23日 | 教育学研究科合格発表（第2次募集） |
| | 28日 | 学部自己点検評価委員会 |
| | | 附属教育実践総合センター運営委員会 |
| | | 「総合的な学習の時間」に関する運営協議会 |
| | | 附属幼稚園避難訓練 |

人 文 学 部

- | | |
|------|---------------|
| 2月2日 | 学部長候補者選挙管理委員会 |
| 5日 | 学部自己点検評価委員会 |
| 6日 | 特別昇給委員会 |
| 7日 | 研究科委員会 |
| | 教授会（人事） |
| | 教授会 |
| 8日 | 学部教務委員会 |
| 9日 | 学部長候補者選挙管理委員会 |
| | 教授会 |
| 15日 | 学部入学試験委員会 |
| 16日 | 学部将来計画委員会 |
| 19日 | 学部国際交流委員会 |
| 21日 | 学部教務委員会 |
| | 教授会 |
| 28日 | 学部入学試験委員会 |

教 育 学 部

- | | |
|------|-------------------|
| 2月1日 | 研究科委員会小委員会 |
| | 附属中学校入学者第2次選考（抽選） |

経 済 学 部

- | | |
|------|-------------|
| 2月6日 | 人事基本問題検討委員会 |
| 7日 | 将来構想等検討委員会 |
| | 研究科委員会小委員会 |
| | 駒城教授最終講義 |
| 8日 | 学部総務委員会 |
| 14日 | 学部教務委員会 |
| | 人事教授会 |
| | 教授会 |
| | 財務委員会 |
| 15日 | 学内会計監査 |
| 19日 | 図書等委員会 |
| 21日 | 学部自己点検評価委員会 |
| 22日 | 情報処理委員会 |
| 23日 | 生涯学習・広報委員会 |
| 27日 | 学部教務委員会 |
| 28日 | 経済学部外部評価委員会 |

私費外国人留学生特別選抜選考委員会

理 学 部

- 2月5日 後学期授業終了
 6日 学科長会議
 6～7日 理工学研究科博士前期課程入学試験（第2次募集）
 8日 学部教務委員会
 9日 学部施設委員会
 13日 学部予算委員会
 14日 学部長候補者選挙教授会
 理工学研究科博士前期課程理学部会
 人事教授会
 理工学研究科博士後期課程部会
 理工学研究科委員会
 15日 理工学研究科合格発表（第2次募集）
 23日 学部施設委員会
 28日 学科長会議

工 学 部

- 2月5日 後学期授業終了
 6日 理工学研究科博士後期課程入学試験（第2次募集）
 6～7日 理工学研究科博士前期課程入学試験（第2次募集）
 8日 国立四大学事務長会議（金沢大学工学部）
 9日 学部学生生活委員会
 13日 学部教務委員会
 14日 教授会
 専任教授会
 理工学研究科博士前期課程工学部会
 理工学研究科博士後期課程部会
 理工学研究科委員会
 15日 学内会計監査
 理工学研究科博士前・後期課程合格発表
 21日 学部施設整備委員会
 27日 教官懇談会

地域共同研究センター

- 2月7日 大学院生教育講座「分散型電源について」
 13日 特別講演会
 演題；企業における危機管理
 講師；北野 芳則（YKK(株) 取締役副社長）
 21日 第12回運営委員会

生涯学習教育研究センター

- 2月26日 大学開放推進懇話会

留 学 生 セ ン タ ー

- 2月13日 スピーチ発表会
 15日 第5回運営委員会

水素同位体科学研究センター

- 2月21日 第6回運営委員会
 27日 第7回運営委員会（人事に関する運営委員会）

機器分析センター

- 2月22日 第4回運営委員会（持ち回り）

編 集 富山大学総務部企画室 〒930-8555富山市五福3190 TEL.(076) 445-6029 FAX.(076) 445-6033
印刷所 あけぼの企画㈱ 〒930-0031富山市住吉町1-5-8 TEL.(076) 424-1755 FAX.(076) 423-8899